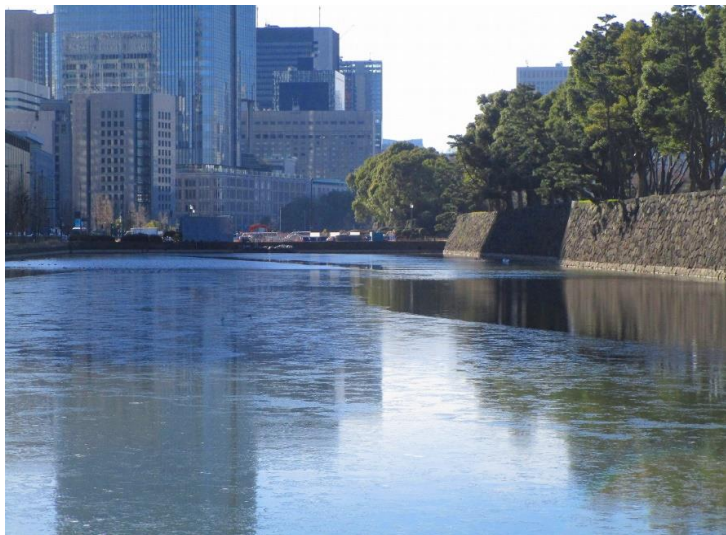




10:30 皇居のお堀には薄氷



10:35 坂下門前に向かう



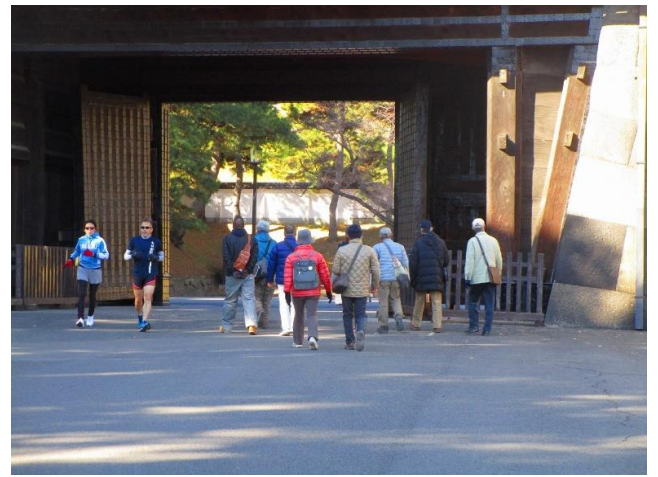
10:45 皇居二重橋前にて集合写真

その後皇居一周グループと東京駅周辺散策グループに分かれて行動

二重橋: 手前の「正門石橋」と後方の「正門鉄橋」の二橋が重なって見えるため「二重橋」と呼ばれています。

東京駅周辺散策グループの皆さん





10:50 桜田門をくぐる一行

10:55 桜田濠からは国会議事堂が見えました。



11:00 少しずつ登り坂になる三宅坂



11:10 半蔵門交差点に差し掛かる

11:20 半蔵門脇の公園にて小休止



11:40 毎日新聞社前 竹橋を渡る一行



11:45 竹橋脇の公園で小休止

11:45 この頃、東京駅周辺散策グループは日比谷公園へ。「松本楼」ランチタイムで「お茶」だけでは、入れなかったとの事



日比谷グループは、日比谷通りを東京駅へ戻る



12:15 皇居一周も終盤「巽櫓(たつみやぐら)」



東京駅正面の銘碑



12:30 「行幸通り」からの東京駅全景



12:30 行幸通りで皇居一周グループ  
集合写真

12:45～13:55

両方のグループが駅正面に集合し、それぞれに昼食をとった後、再集合



日本の鉄道網の中心、東京駅。その駅長室には日本画家、横山大観の大作がある。第2次世界大戦で爆撃を受けて修復した駅長室を飾るため、大観が寄贈した。画面中央に富士山の堂々とした佇(たたず)まいを捉えた「富士に雲」は、駅長の机の真ん前にある。駅舎の保存、復元工事が2012年に完了した今もなお、当時と変わらぬ場所に掛けられている。

茨城新聞社 2018.8.2記事 およびYouTubeより

14:00 東京駅駅長室にて小池駅長より説明を聞く



14:05 第25代東京駅長 小池邦彦氏を囲んで記念撮影

14:10 「梅の間」歴代の東京駅長の写真が掲示されていました。



他の貴賓室も見せて頂いたのち  
東京ステーションホテルに移動し、見学

14:30 ステーションホテルの廊下(1フロアに100以上の客室がある)

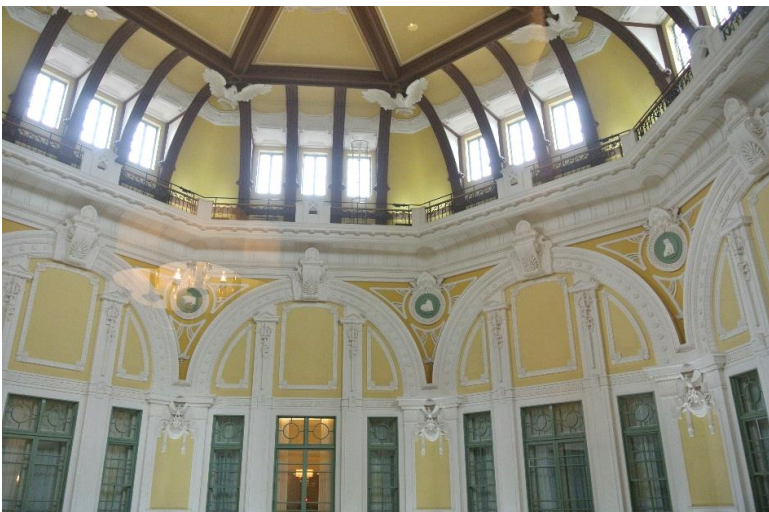


コンドミニアム式  
の部屋から東京  
駅南方を望む

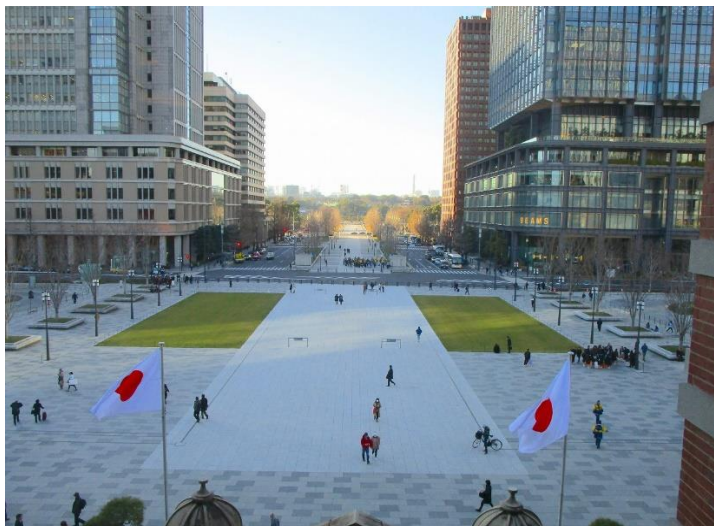
一泊30万円の  
スイートルームを見学



ホテル廊下より南ドームを間近に見られました。



インペリアルスイートルームの窓からは行幸  
通りを経て皇居が正面に見えました。



4Fレストラン(アトリウム)にてティータイム



アトリウムには昔の駅舎の部分(煉瓦、鉄骨)がそのまま  
見えるようにデザインされている。



コーヒーとチョコ、クッキーでティータイム



アトリウムは宿泊者の朝食専用ラウンジとのこと。(今回は特別にティータイムに使用させて頂いた)



当日朝、高崎線の遅れにより東京駅出発が約30分遅れてハイキング開始。丸の内のビル風が強く、ビルの日陰では冬の寒さが応えましたが、日当たりでは陽射しは暖かくハイキングとしては恵まれた一日でした。

午後の東京駅特別施設見学では、駅長はじめ多くの方々に案内の時間を割いていただき、特別施設それぞれに丁寧な説明を伺う事ができました。引き続いての東京ステーションホテルでも、宿泊者しか見られない豪華な部屋、施設を見学させて頂き、最後には「アトリウム」という宿泊者専用レストランで「お茶」をすることができました。

今回のハイキングに参加頂いた皆さんも、記憶に残る貴重な体験ができた一日だったと思います。東京駅の業務時間、ホテルの混雑時間の関係から全般的に少し短時間の見学であったため、駆け足での見学の感はありましたが、概ね満足いただけたのではないかと思います。皆さまお疲れさまでした。

次回は2月1日飯能の「天覧山・多峯主山ハイキング」が美工担当で開催されます。皆さま、多数のご参加をお待ちします。

記:加藤 治朗(ふる伝)